

# 四国電友会会報

第101号

平成10年1月



## 目次

年頭のご挨拶(電友会四国地方本部長)	2
年頭にあたって(NTT四国支社長)	3
NTTの動き	4
平成九年度の経常利益予想	4
再編成に関する「基本方針」	4
遠距離通話料金の値下げ	4
番号案内料金の改訂	14
お知らせ	5
電友会本部行事	5
電友会団体傷害保険のご案内	5
電信電話記念日の表彰	5
平成九年秋の叙勲受章者	5
「NTT四国」ホームページへ移行	5
年金情報	5
健康のページ(NTT愛媛健康管理所)	6
人生さまざま・後半生を生きる	7
私は今	8
テルウェルだより	12
園芸講座を開催(愛媛)	12
平成一〇年度退職者文化活動のご案内(香川)	12
第五回「NTTOB俳句大会」を開催(徳島)	12
土佐のおどけ者たち(高知)	13
サークルだより(香川)	14
俳句	15
敬弔	15
表紙の言葉	2
編集後記	15

年頭のご挨拶

電友会四国地方本部長  
西本寿恵一



電友会会員の皆様、明けましておめでとうございます。皆様にはどんな新年をお迎えになったでしょうか。

新しい年が会員の皆様にとって、健康で心豊かなものでありますよう祈念してやみません。

電友会の活動は、おかげさまで順調に推移しておりまして、四国の会員数は四千百名を数え、全国の仲間も九万名に近い数になりました。

これは、NTTOBとしての連帯感と、電友会に対するNTT及びNTTグループ各社のご支援の賜物でありまして、新しい年を迎えるに当たり、改めて深く感謝申し上げる次第です。

さて、昨年は景気が低迷を続ける中で、大手の金融機関が倒れたり、衝撃的な暗い出来事が発生するなど、何ともすっきりしない、うっとおしい一年でありました。

しかし、そういう中でも、我々OBの母体でありますNTTでは、厳しい競争体制のもと、現役の皆様の大変なご努力により、三期連続の増収増益を達成されたことは、まことに喜ばしく心強いことでありました。

また、我々OBの関心事でありました、NTTの経営形態問題については、既にお知ら

せしておりますとおり、昨年六月の国会で、関係法案が可決成立し、目下その再編成に向けて着々と準備が進められておりますが、十五年余にわたる論議によりやく終止符が打たれ、平成一年にはNTTグループの画期的な晴れ姿を、見ることができることになったことは、我々OBとして感慨無量なものがありません。

ところで、このNTTの再編成に伴う電友会の在り方については、電友会自体の組織体制を含めて、今後検討を進めることになっております。

更に、昨年は、我々に最も身近な問題として、共済年金の厚生年金への統合、医療費の自己負担増、介護保険制度の導入決定など、少子、高齢化に対応する国の施策が間断なく打ち出されました。

特に、先日厚生省は、「年金改革に関する五つの選択肢」を公表して、今後の検討課題とし、本年秋までには、一定のまとめをしたといっております。

少子、高齢化問題は、国の深刻な課題であります。年金問題は、我々にとって直接生活権に関わる重要問題でありますので、今後の動きには重大な関心を持ち、電友会としても、中央に連動して必要な施策を進めなければなりません。

以上、昨年来の我々をめぐる主な動きについて申し述べました。何時も申し上げているとおり、電友会は、NTTとの支援協力関係を進めることにより成り立っています。

昨年末のNTTサンクスフェア時には、多数の販売や情報提供などについてご努力を頂き有り難うございました。

新しい年の始めに当たり、会員の皆様一人ひとりがNTTへの支援協力について、何を成し得るかを今一度お考え頂き、実行に移そうではありませんか。

最後に、会員の皆様のご健勝と、病氣療養中の方々のご快復をお祈りし、新年のご挨拶とします。

表紙の言葉

「能・高砂」 高本隆之(松山市)  
高砂といえば、大方の人は松の木陰を掃く老夫婦を思い出されるであろう。それ程、その情景は絵画や人形でおなじみである。

所は播州高砂の浦、落葉掃く手を休め二人は旅人の間に答えて、「尉は津の国住の江(住吉)に住まいする者、姥はここ高砂の人であるが、このように『山川万里』を隔てていても、互いに心の通う妹背の道は遠くないのである」と、「相生の松」の奇瑞にも及びながら、神秘的な夫婦の交情を語る。

後半、能は所を住吉に移し、尉がその本然の姿である住吉明神として登場し、颯々と吹きわたる松風の中、神と人の和合をあげ、天地万物ひとしく千秋萬歳を寿ぎ舞ひ納める。

新年の能始めなどでは、荘重にして瑞気満つこの後段のみが演じられることも多い。表紙は、その後段のワン・カットである。

年頭にあたって

NTT四国支社長 藤原 勝彦



新年明けまして、おめでとございます。会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にて、良いお年をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

また、平素よりNTTの事業に対し、深いご理解を頂くとともに、各種施策の実施にあたり、ご支援、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、新年を迎え、今年の抱負と事業運営について申し上げます。

昨年、「金融危機、財政デフレ、建設不況」の三重苦に「アジア危機」まで加わり、銀行、保険、証券、建設等で大型倒産が相次ぐなど、日本経済全体としては、景気悪化の感ばかりが募った重苦しい一年間でした。

政府は遅ればせながら、年末に二兆円の特例減税や法人税の引き下げ、預金者保護のための公的資金投入等を決めました。

今年こそは、金融不安が早期に解消され、景気の回復に向けて力強い足音が響いて欲しいと祈らないではおられません。

一方、情報通信の世界はといいますと、六月に、NTTの持株会社方式による再編成と通信に対する大幅な規制緩和の方向が可決されました。

お蔭様で、私たちの閉塞感と不透明感が払拭されるとともに、文字通り、「通信ビッグバン」の到来が実現しました。また、情報通信業界は、全体として見れば、この厳しい経済情勢の中で、他から見れば羨ましがられるほど恵まれた一年だったと言えます。

そして、アナログ固定電話の加入数や公衆電話の通話料が初めて純減する一方で、携帯電話やPHSが爆発的な拡大を遂げ、ISDN、OCN、インターネット、LAN等の、いわゆるマルチメディア需要が大きく伸長して、「電話からマルチメディアへ」の大きな地殻変動が始まった年でもありました。

本年は、更に競争が激化します。TTNet等のGIC接続（市内外交換機への直接接続）の開始に呼応して、市外通話料も市内通話料も大幅に値下げされるでしょう。ISDN市場には、STNetが本格参入します。

私たちはコスト競争力を高めるために、スキルアップと効率アップのための諸施策を、更に強力に、推進していかなければなりません。

NTT四国では、このような状況下で、昨年からの、「早期黒字化の実現」と「マルチメディア事業の全面的推進」を事業運営上の二大目標に掲げ、待たなしの課題として取り組んでおります。

今年もこの二つの目標を引き続き追求し、マルチメディア事業のパイの拡大を図るとともに、既存事業分野における増収努力、徹底した費用の削減等を図り、健全な財務基盤を確保して参りたいと思っております。

そのためにも、マルチメディア時代に合った経営にポイントをおき、仕事の仕組みや、やり方をマルチメディア時代に即応できる体制に変えていきます。

また、営業面では、大きく伸びているISDNやOCNといったマルチメディア関連商品を主力商品として、SOHO（スモールオフィス・ホームオフィス）市場への提案型営業の展開等チャネル別に営業戦略を設定し、「マルチメディア・スタンダード」の営業活動を実践して、ビジネス拡大を図って参ります。

更に、グループ経営については、グループ各社が得意分野においてNTTと連携をとりながら、目標をもって相互にビジネスを拡大していき、トータルパワーを発揮して、NTTグループとして積極的な事業展開を進めていきたいと考えております。

四国支社では、昨年も、「NTTサンクスフェア」の販売キャンペーンを開催しましたが、その際、電友会会員の皆様に、「INSネット64」、「OCNサービス」、「NTTグループカード」等の販売情報の提供をお願いしましたところ、多くの情報を頂きましてありがとうございました。

今後とも諸先輩の皆様方には、地域社会とNTTの力強い接点として情報通信事業発展のため、ご指導、ご支援を頂きますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健康と四国電友会のご繁栄をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

最後になりましたが、皆様方のご健康と四国電友会のご繁栄をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶と致します。



NTTの動き

平成九年度の経常利益予想

中間決算が発表された。収益と利益はほぼ前年度並で横ばいである。通期の経常利益としては三千八百七十億円が予想されており、これは前年度を上回る水準になる。但し、年度内に通話料金の値下げを検討しており、経常利益の水準は、この予想を下回ることになる。

再編成に関する「基本方針」

郵政省は一二月四日、「NTTの再編成に関する基本方針」を決定し、一九日、これを官報に公示した。

NTTはこれを受けて、一年から一年半かけて「実施計画」を策定し、郵政大臣の認可を得て再編成に取り組み、来年七月を目途に持株会社のもと、東西の地域会社と長距離・国際会社に移行する。

「基本方針」では、①地域と長距離会社間の役員兼任・在籍出向は禁止するが、持株会社は業務遂行上、各社の経営実態を知る必要があるため、持株会社の三社の役員兼任は認める。②短期借入は持株、地域、長距離各社個別に行うが、長期借入は、再編後は各社の社債の格付けが落ちると資金調達コストが上昇するため、社債発行等の長期資金調達は持株会社と三社一体で行うこととする。③長距離会社は独自の営業部門を持つが、利用者の利便性維持のためであれば、長距離会社は地域会社に営業を委託できる。④持株会社と地域会社の研究成果は、公平な条件で普及に努める。⑤等、地域と長距離会社の人と物

と金の交流を厳しく禁じる一方で、利用者利便の維持を主張するNTTに、業務委託や持株会社の役員兼任等が約束されている。

また、具体的には、①再編成の時期は、平成一年四月一日から二月二〇日までの間のできるだけ早い時期。②三社が引き継ぐ業務の種類と範囲は、地域会社が県内通信に係わる電話などで、長距離会社が県間通信に係わる電話など。③電気通信技術に関する研究業務は、基礎的研究は持株会社、応用的研究は地域会社と長距離会社。④三社が承継する資産と債務並びにその他の権利及び義務は、あまねく電話・重要通信・福祉サービス等、サービス水準を低下させずに利用者利便を確保する等。⑤公正競争の確保条件としては、地域会社と長距離会社間の役員兼任・社員の在籍出向の禁止、持株会社及び三社の短期借入の個別実施、持株会社・地域会社による長距離会社と共同した資料調達の禁止、長距離会社の独立営業部門の設置等。⑥その他としては、株主権利の確保。ネットワークの監視等体制の確保。⑦等で構成されている。

遠距離通話料金の値下げ

NTTは一二月一五日、遠距離通話料金の値下げについて認可申請した。認可後、準備が整い次第、二月にも実施する。

これは、「最遠距離通話料金を二千年までに三分一〇〇円にする」という目標を、前倒しするもので、「平日・昼間」の遠距離（一〇〇km超）通話料金は、現行の三分一〇〇円から九〇円となる。

また、遠近格差の縮小に併せて、一〇〇km超の距離区分の統合を行う。この値下げにより、一加入当たりの通話料

金軽減額は約千二〇〇円。値下げ総額は年間で約八〇〇億円になる見込み。

○改定後の料金（加入電話のダイヤル通話料金）

時間帯 距離段階	昼 間	夜 間	深夜・早朝
	平 日 午前8時～午後7時	午後7時～午後11時 (土・日・祝の昼間を含む)	午後11時～午前8時
区 域 内	3分 (10円)		4分 (10円)
隣接・～20km	90秒 (20円)		2分 (20円)
20km～ 30km	45秒 (40円)		1分 (30円)
30km～ 60km	36秒 (50円)		1分 (30円)
60km～100km	22.5秒 (80円)	30秒 (60円)	45秒 (40円)
100km超 (100km～160km) (160km超)	20秒 (90円)	22.5秒 (80円)	30秒 (60円)
遠近格差	1 : 9	1 : 8	1 : 6

※1. ( ) 内の数字は、3分間通話した場合の料金 2. ■ については、今回の料金改定対象部分  
3. 遠近格差は、3分間通話した場合の料金格差

(一四ページへ続く)

## お知らせ

## 電友会本部行事

## ○第一八回理事会

一月二十六日、東京・京橋会館に於いて定例の理事会が開催され、西本本部長（理事）が出席して、①第七回「電友会ボランティア活動賞」審査委員会の結果について、②第九回常任理事会の会議模様について一等の議題について審議等を行いました。

## ○第七回ボランティア表彰式

同日、理事会出席者等により、九団体の代表者と個人二二名に対し、「第七回ボランティア活動賞」が贈られました。

四国地方本部の受賞者は、大津通子様（松山市）と姓億政明様（徳島市）でした。

▽大津さんは、退職後の昭和五六年五月、県の社会福祉協議会を訪ね、ボランティアグループ「えひめ」の一員となり、以来、介護に関する知識や技術の習得に努めながら、老人や身体障害者のよき支えとなり、献身的なお世話を続けておられます。

▽姓億さんは、昭和五八年三月、脳内出血で倒れ右半身が不自由になり、辛いりハビリに耐えて、再び阿波踊りの名手として復帰されましたが、自分が習得した阿波踊りがりハビリに効果があることをつかみ、以来、病院や施設等を訪ね、自身の体験談を通して、障害者等を激励しておられます。

▼電友会の「ボランティア活動賞」は、永年にわたって、地道にボランティア活動を続けておられる会員に対し、毎年贈ることになっています。会員の皆様からのご推薦を、事務局ではお待ちしております。

電友会団体傷害保険のご案内  
電友会会員とご家族のための「団体傷害保険」を募集しております。

お手元にお送りしましたパンフレットを、是非ご覧頂いて、「払込取扱票」に必要事項を記入の上、切り取ってお申込み下さい。

切日は二月末日です。

まさかのケガ（転落、転倒、交通災害等）にワイドな補償付きで、申込み年齢に制限はございません。ご夫婦での加入をお勧め致します。

なお、「生命・傷害セット保険」につきましては、満七五才までの方であれば、何時でもご契約できます。各県の事務局までご相談下さい。

## 電信電話記念日の表彰

平成九年の電信電話記念日にあたり、長年にわたって電信電話事業の発展に尽力された次の会員に対し、NTT四国支社長から感謝状が贈呈されました。

松本義則様（松山市） 林 等様（松山市）  
森川清和様（高松市） 長島 稔様（徳島市）  
児島貞雄様（徳島市） 楠瀬邦夫様（高知市）  
安村 淑様（高知市）

平成九年秋の叙勲受章者  
勲四等瑞宝章 矢野光信様（松山市）  
勲五等旭日章 真鍋 祝様（松山市）

## 「NTT四国」ホームページへ移行

会報と共に、長年お届けしてきました「NTT四国」は、一二月号から「NTT四国ホームページ」へ移行しました。

一月号に「社外ホームページ」のアドレ

スが掲載されておりますのでご利用下さい。

OBサロンからのアクセスも可能です。  
なお、OB向けには、三ヶ月程度まとめたダイジェスト版が発行される予定です。

## 年金情報

将来の公的年金の給付水準をめぐって、新聞等で色々と報道されていますが、年金受給者にとって、最も重要なのは年金スライド方式の問題でしょう。

現在、年金のスライド方式として、①五年毎の財政再計算時に行われる「賃金スライド方式」と、②全国平均消費者物価の変動に比例する「物価スライド方式」があります。

①は、平成六年一〇月の法改正により、可処分所得（名目賃金から税金、社会保険料を控除した額）の上昇率に見合うスライド方式に改められましたが、②よりも高いため、①に②は含まれてしまいました。

最近の五年間の動向を見ても、①の方が②よりも約四％高いという結果がでています。従って、こうした状況下で、将来、もしも①が廃止され、②のみになるようなことがありますと、年金の給付水準は、かなり低く抑えられることになり、年金受給者に重大な影響がでることになります。

今年、②によるアップを期待しているのですが、まだ情報が入っておりません。①によるアップは、平成一一年になります。

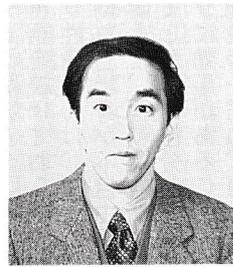
なお、②については、従来、五％以上の物価変動があった場合となっていました。平成元年の法改正で五％の枠がなくなり、完全自動物価スライド方式となっております。

## 健康のページ

## 核医学診断について

N T T 愛媛健康管理所

重澤 俊郎



核医学という言葉はあまり馴染みがないかと思いますが、放射性同位元素を診断、治療及び医学研究へ応用する医学の一分野です。

放射性同位元素とは、放射線を出しながら他の元素に変化するもので、その中でも医薬品として認可されたものを放射性医薬品として使用しています。

核医学診断には、患者に放射性医薬品を投与する in vivo 検査と、患者から得た血液、尿等の検体試料に含まれる物質を測定するのに試験管中に放射性医薬品を添加する in vitro 検査があります。前者は更に、放射能を体外から測定する検査と、検体試料中の放射能を測定する検査に分けられます。体外測定の結果を画像として表示する検査を、シンチグラフィと呼びますが、ここでは、検査される頻度の高いシンチグラフィについてご説明致します。

## 一 骨シンチグラフィ

骨シンチグラフィは、日常の核医学の中で最も重要なものの一つです。放射性医薬品としてテクネシウムリン酸塩を注射し、全身像を撮像して診断しています。この検査の目的は、9割以上が骨転移の検索です。骨転移の頻度の高い腫瘍は、前立腺癌、肺癌、乳癌、

腎癌等です。特に前立腺癌は、治療を開始する時点で半数が骨転移を有しており、骨シンチグラフィは必須の検査です。転移を来し易い骨は、胸・腰椎、骨盤、肋骨、胸骨、頭蓋骨等です。

骨シンチグラフィを行うことにより、疼痛等の症状が出現する前に転移を検出でき、また、X線写真で所見が得られるより早期に異常像が出ます。全く骨転移を疑うような症状がない患者で、しばしば転移を発見することがあるため、骨転移の頻度の高い癌の場合には、必ず行っておく必要がある検査です。

ただ、骨転移だけでなく他の骨腫瘍でも、或いは骨折や骨髄炎等でも、異常像が出るので、臨床所見と合わせて診断することが必要です。

## 二 腫瘍シンチグラフィ

悪性腫瘍に集積する放射性医薬品を注射して全身像を撮像し、病巣を描出するもので、主にクエン酸ガリウムと塩化タリウムが用いられています。腫瘍シンチグラフィを行う目的は、①悪性腫瘍と良性腫瘍の鑑別診断、②悪性腫瘍の存在診断、③腫瘍の進展度診断、④再発・転移巣の診断、⑤腫瘍の悪性度の推定、そして、⑥放射線治療や化学療法の効果判定等です。

クエン酸ガリウムによるガリウムシンチグラフィは、主に悪性リンパ腫、黒色腫、甲状腺未分化癌、肺癌、上顎癌等の進展度診断や経過観察、その他の腫瘍(特に進行癌)の転移の検索、再発の診断に用いられています。

但し、ガリウムは急性の炎症巣にも集積するので、これらとの鑑別には適していません。塩化タリウムによるタリウムシンチグラフィは、甲状腺癌で術後の残存巣や再発・転移

巣の描出、甲状腺腫瘍癌や肺腫瘍の良性・悪性の鑑別診断、肺癌のリンパ節転移診断及び胸腺腫、骨腫瘍、脳腫瘍の診断にも用いられています。

その他、褐色細胞腫や神経芽細胞腫に集積する I-131-MIBG、甲状腺癌様癌や骨軟部腫瘍の診断に有用な Tc-99m (V) IDMSA 等もあります。

更に、腫瘍のブドウ糖代謝の亢進を利用した F-18-FDG を用いたシンチグラフィは各種の腫瘍の診断・治療評価に有用ですが、病院内に F-18 製造用の小型サイクロトロンが必要なため、限られた施設でしか行われていません。

## 三 心筋シンチグラフィ

狭心症や心筋梗塞等の虚血性心疾患の診断や治療の適応決定、経過観察に、心筋シンチグラフィを施行します。心筋血流を評価するための放射性医薬品としては、従来より塩化タリウムが使用されてきました。心臓は複雑な形態をしているため、断層撮影による画像を再編成して心臓を三次元的に観察し、病変の有無やその広がりやの評価、責任病変を有する冠動脈の推定等を行っています。

タリウムの安静時の投与では、冠動脈の狭窄が90%以上の高度狭窄例のみで虚血部として描出されます。このため、狭心症の診断には、運動負荷、或いは薬物負荷を加え、虚血部を相対的な血流減少部として描出する負荷法の併用が必須となります。

最近、テクネシウムで標識した放射性医薬品が使用されるようになってきました。これは従来の薬品と比べ良好な画像が得られる利点がありますが、虚血性心疾患の検出率は、(一四ページへ続く)

## ドキュメント

## 人生さまざま・後半生を生きる

## 保護司十五年の足跡

広辞苑の「保護司」の項を繙くと、「犯罪者の改善・更生を助け、犯罪者の予防に当たる篤志家。法務大臣から委嘱され無給」と記されている。篤志家とはボランティアそのものであるが、いささか身の引き締まる活動のようである。これに従事して十五年になるというKさんを訪ねた。

退職した翌々年の昭和五六年に委嘱されたと聞く。きっかけは、公社在職中に乞われて地区の分館主事に就任したことに始まる。

勤めの傍ら社会奉仕のつもりで手伝うこととしたが、十数年間真面目に黙々と従事した姿勢が認められたらしく、退職を待ちかねたように公民館長から話が持ち込まれた。

分館主事、交通指導員と、地域ボランティアに忙しい毎日であっただけに、Kさんは即答をためらった。初めて耳にする保護司の名称にもどことなく重さを感じていた。

相談した妻は、これまでの仕事とは畑違いであることを直感して心配顔だったが、断り切れそうもない夫の口ぶりを察してか、「世の中のお役に立つことですから、お引受けになったら、私もお手伝いを致しますよ」と温かく励ましてくれるのだった。この妻の一言で事は決まった。

保護司は、保護観察処分少年とか少年院仮退者、更に仮出獄者など犯罪に係わった者を保護観察の名目で、毎月二回自宅へ招き、社会復帰のための指導をするのが一つの役目

である。

指定日に来訪しない者には、電話で問い合わせをし、指導に当たっては言葉遣いにも神経を使った。若者が相手であり、公社在職中よりも気苦労が多かった。それでも「罪を憎んで人を憎まず」の精神にそって、世間の冷やかな目の中で、本人の面子に十分な心配りをしながら、再び過ちを犯さないよう親身で相談に乗った。また、指導する者として、家庭内の雰囲気作りには、妻ともども細かい気配りをした。家庭環境が如何に子供を悪の道に走らせているか、身にしみて考え込まされる体験ばかりであった。

保護司の仕事には、受刑中の者の家庭環境についての調査がある。刑期を終えた者が、きちんと社会復帰できるような生活環境にあるかどうか、これを判断するための実態調査である。こうした調査は保護観察の場合と同じように、所定の調査に記入の上、当局あて提出するよう義務付けられているが、実費として郵便料八十円也が支弁されるだけである。

保護司になってから三年目、分館主事から分館長になっていった。地域の様々な行事に妻と一緒に引っ張りだされる機会が、益々増えていった。

そして十年目の秋のこと、陰になり日向になつて支えてくれていた妻の左手足が突然効かなくなつた。医師は、「糖尿病による脳梗塞」と診断。即刻入院。だが、年金生活のKさんにとつては、付添婦を雇う余裕はない。背に腹はかえられず、自分で妻を看護せざるを得なかつた。

保護司、分館長の仕事を続けながら、泊り込んで介護するという苦難が始まつた。

しかし、妻の病状は好転することがなかつた。半身不随のため、入院半年目にはベットから転落して、右大腿骨を骨折。続いて一年後に、同じような転落で、左股関節を骨折した。いずれもKさんが、目を外した際の思いがけない事故であった。そして平成八年の六月、親身の看護も虚しく、肺炎を併発して黄泉の人となった。享年六十七歳。思えば苦勞ばかり多かつた妻の生涯だった。

妻の付添い看護のため、病院に寝泊まりしていたのでは勤まらなないと考え、平成七年三月に、分館長を辞退しており、妻の死後は、保護司を続けることについても迷つた。三人の子供が、何もしないで独り住まいをする父よりも、保護司の仕事に励む父を希つてくれた。「他人様のお役に立つことなら」と、笑顔で支援してくれた妻の言葉が蘇つた。

保護司を務める決意を固めて、一年半が過ぎた平成九年一月、Kさんに、四国地方更生保護委員会委員長より、次のような表彰状が授与された。

「あなたは多年にわたり社会奉仕の精神に徹し、犯罪者の改善更生と犯罪予防のために尽力されたその功績はまことに顕著なものがあります・・・」

この晴れの表彰は、妻あつての功績と述懐するKさん。仏前で亡き妻に報告しながら、十五年間、八十数名の若者達と、保護観察という仕事を通じて触れ合つた過去を、振り返って見るのであつた。

(穴吹編集委員長 記)

私は今

◇ 荒井 巖 (国分寺町)

早いもので退職して一三年になります。

その間、一時体調を悪くした時期もありましたが、今は老骨に鞭打ち、地域の特産品である錦松、黒松、五葉松を主体とした、盆栽作りに取り組んでいます。

一方、下手の横好きで・・・、ゴルフは、電友会員の集まりである八一会や平成会、地域の自治会コンペや農協コンペに参加し、子や孫位の年代の人達と、「赤マーク」から緻振り打法で、楽しく競技しております。

◇ 上田 至 (松山市)

平成元年にNTTを退職。第二の職場で八年間お世話になり、昨年の三月末日で、毎日日曜日になりました。

退職後はあれこれしようと楽しみにしておりましたが、雑用に追われて八ヶ月が過ぎ、時の流れが早いのに驚いております。

雨が降らない限り、毎朝のウォーキングに精を出し、天気が良い日には、時々、十数キロのサイクリングに出て、健康維持に心掛け、「働き人間」から「遊び人間」へのソフトウェア・エンジニアに努めています。

◇ 榎村 英臣 (藍住町)

平成四年に退職して五年が経過しました。

私の一日を紹介します。朝六時起床。愛犬を連れて約三〇分散歩。七時に第二就職先の日電工へ。徳島西ビルと万代ビルへ、午前と午後、オーダー受渡しと材料の受け。四時頃にはスーパーで買い物(妻が一昨年の暮れに脑梗塞で倒れ、手足が不自由になった)。帰宅後、五月二百鉢と万年青四〇鉢の水やり。

そして愛犬を連れて、再度約二キロの散歩。休日は、屋敷周りの小さな小さな菜園の手入れと、毎日が多忙。夜一〇時就寝。元気でです。

◇ 大石 高三 (石井町)

退職してから早一〇年余りが過ぎました。

退職後は農業に従事し、六〇アールの田畑で稲作と野菜の生産に頑張っています。その合間に趣味の園芸の仕事で、庭園造りや植木の手入れ等に追われていましたが、昨年五月に肺炎を患いまして入院。病状も回復して八月に退院が出来ました。

◇ 大谷 光雄 (松山市)

皆さんお元気ですか。早いもので、退職してもう一五年になります。

最初は声を掛けられるままに、NTT関連で臨時雇等もしましたが、昭和六二年以降は何もしないで暮らしています。

現在の仕事は散歩。早足はダメで、ひたすらマイペース。二万歩を超えると流石に疲れます。平均は一萬歩から一萬五千歩位でしょう。効能は食事が美味しいことです。

◇ 大槻喜三郎 (小松島市)

NTTみなと会(小松島OB会)とボランティアNTT小松島OB会の事務局長を勤めております。毎月の幹事会や年間の行事への取り組みやらで、結構、忙しくしています。

少しの暇を作りだして、好きな海釣りを楽しんでおります。海釣りは豆アジに始まり、アジに終わるといわれます。毎年六月始め頃になると豆アジが釣れだし、九月一杯は、家内とアジ釣りを楽しんでいます。一〇月から一二月下旬頃まではチヌ(黒タイ)釣りで、大漁のときは、そう快な気分になります。

◇ 尾崎 猪平 (鳴門市)

皆様、大変御無沙汰して相済みません。

その後二〇年、地区のお世話を幾つか引受け、まあなんとか全うしています。

年と共に進む物忘れの所為で、事務に支障があつては失礼と、関係事項全般をワープロで整理し、活用・保管しています。

最近、四国別格霊場、西国秩父坂東の百観音霊場を参拝させて頂きました。

これからは四国八カ所霊場巡拝に励み、赤色の納札を早く銀色にしたいと念じています。この身、意の練りが私の健康法です。

◇ 岡田 照正 (松山市)

視力が低下し、自転車に乗れなくなり不便です。朝夕の犬の散歩が、一日の日課になりました。

◇ 岡林 泰助 (安芸市)

NTT退職から早六年目。未だに現職気分が抜けきらず、マスコミ等でNTTを見つけるとつい目が行く。

半年余り前から、安芸OB会が中心になって計画していた電電安芸会を、去る一月二日に開催。昭和二十四年から六〇年までに、安芸管理所、安芸・田野局に勤務した四三五名(内物故者六七名)中、九〇名が四国内はもとより近畿、東海から集まり、久しぶりに懇親できたことが、発起人の一人として昨年の最大の喜びでした。

退職後は、安芸市社協の独居老人等への昼食サービスの配食ボランティア、地域清掃ボランティア、安芸OB会のお世話などをさせて頂き、手帳の予定表が満杯になることも。お蔭で健康保持もできています。

◇ 加藤紀代子 (新居浜市)

平成元年に退職。当時、単身赴任の主人に

付いて大阪、広島を転々。大阪は丁度花博時  
で、美智子皇后様を目前で拝見。広島ではゴ  
ルバチヨフ氏に握手を求められ、フラッシュ  
を浴び、戸惑った出来事もありましたが、三  
年前、主人も退職し、新居浜に落ち着まし  
た。

最近健康保持を兼ね、少し土地を借りて  
畑仕事に精を出し、無農薬収穫の喜びを味わ  
っております。また、週に三日、健康スポー  
ツクラブで汗を流し、七、八程スマートになり  
ました。皆様ご自愛を。

◇ 岸本 道子 (高知市)

一昨年の暮れに初孫が誕生して、名実共に  
「おばあちゃん」になりましたが、周囲の者  
に「ほら、おばあちゃんよ」なんて言われる  
と、一寸ショックでした。でも孫は可愛いで  
すね。

今まではバイクで走り回っていましたが、  
おばあちゃんになったので、もうバイクは危  
ないし許可が出ず、今は運転手(夫)付きの  
車になり、楽な反面、不便さを感じています  
が、遠出が出来る様になり、都台のつく限り  
ミニミニ旅行を楽しんでいます。

◇ 喜多 春吉 (徳島市)

退職して一八年。孫三人の七人家族で元氣  
に暮らしています。

現役時代、町内のために役立っていなかつ  
た反省もあり、お礼奉公のつもりで町内会長  
や民生児童委員を引き受けたのが始まりで、  
社会福祉協議会、交番地域の安全を守る会、  
学童保育、御座船太鼓の伝承、神社やお寺の  
世話役等々を、皆様のご指導のもと、つつが  
なく務めています。

今年辞めて、趣味のお面作りや刻字に力  
を入れたと思っています。

◇ 佐々木 猛 (松山市)  
皆様、明けましておめでとうございます。  
月日の経つのは早いもので、電電公社を退  
職して一五年。第二の職場を退職して一〇年  
になります。

在職中は、多くの方々に助けられ支えられ  
て、多くの事を教わりました。

退職後は点字講習を受け、現在は点訳本を  
県点字図書館へ納本しております。その他、  
養護老人ホーム等福祉施設へ。各種介助活動  
に飛び回っています。

◇ 勢野 龍雄 (高松市)

「光陰矢の如し」という諺の通り、退職し  
て早一年。あつという間に月日が経ちまし  
たが、その間にアルバイトを少々。また、海  
外、国内の気儘な旅行も楽しみました。

でも、ここ二、三年は体調を崩し、健康を  
取り戻そうと、週四回、早朝スイミングとウ  
オーキング等をしております。その効果の程  
は判りませんが、最近少し疲れを感じなく  
なったような気がします。

老化と戦いながら、また元気で好きな旅行  
にでも行けるようにと頑張っております。

◇ 田岡 治雄 (徳島市)

退職してから囲碁ばかり、バイクで毎日碁  
会所通い。従って運動不足で糖尿病となり、  
今度は散歩中に、ヒザの内出血で動けなくな  
って半年が経ちました。何事にも夢中になる  
悪い癖への罰だと思っています。

しかし、囲碁は右脳を使うので、ある病院  
ではリハビリにとり入れ。また、二〇〇八年  
のオリンピック競技運動中とか。最高に面  
白い囲碁からは離れられません。

私も古稀を迎えた今、やっと気付いた様に  
「先ず健康」について反省中です。

◇ 谷岡 佳子 (須崎市)  
退職して一一年になりました。二人の子供  
達も、それぞれ浜松と枚方に住んで居ます  
ので、現在は、犬と猫との一人と二匹の生活  
です。

在職中から病気がかりしてましたので、  
体力を使うことは出来ませんが、犬との散歩  
や、NHKの基礎英語や英会話入門を聞くな  
どして、頭の体操をしています。最初は、頭  
が全部跳ね返してしまいましたが、現在  
は、かなりスムーズに入ります。

体調の良いときは、孫達と旅行したり本を  
読んだり、それなりに楽しんでます。

◇ 常行 悦功 (茨城県)

「四国の皆様・・・」なんて言うと、「ン  
?」となりますよね。一年前までは、自分自  
身でも半信半疑だったので、昨年四月、  
関東・利根川のとおり、茨城県守谷町へ転居  
しました。

一人息子の勤め先である大学の研究所が、  
千葉県柏市へ移ることになり、将来ともに四  
国へは帰れそうにない息子に誘われて、同じ  
団地の中へです。

自分の意思で動ける元氣のあるうちに、せ  
いぜい行動範囲を広げます。

「四国の皆様も、お元気で・・・」

◇ 徳広 孝敏 (高知市)

S六〇年三月、電電公社最後の退職となり  
ました。翌四月からは新生NTTの誕生。上  
司に「君は敵前逃亡するのよ」と一喝され、  
大ショックを受けたことを今でも忘れません。  
NTTの移动通信会社に再就職。もう一二  
年が経ちました。携帯電話ブームに乗り、超  
多忙でしたが楽しい毎日でした。

現在はドコモショップで、老骨に鞭打って

います。モバイルコンピューティング時代の予感がするので、NTTのOCNに加入し、インターネットを始めたばかりです。

◇ 中井 勝義 (善通寺市)  
平成四年に退職して早五年。以来、地区環境推進連合会のお世話をしております。

NTT時代に脳梗塞、大腸ポリープ等の病気をし、月三回通院しておりますが、お蔭様で、現在は体調も良く、毎年、淡路七福神、四国八八カ所参りに行っております。また、近くの温泉へも足を運んでいます。休日には近くに居る孫達が遊びに来るので、賑やかに過ごしております。

これからも健康に気を付けて、頑張っていきたいと思っております。

◇ 中野 益雄 (松山市)

今のところ、ぼちぼち仕事をしたり、地域の行事等に顔を出したり、何とか忙しい日々を送っております。

年に数回の先輩や後輩とのゴルフが唯一の楽しみです。皆様方のご健康を心からお祈りしております。

◇ 西田 雅俊 (高知市)

再就職する才覚、甲斐性としてなく、退職後は意図していた充実した暮らしとは程遠い、だらけた生活に明け暮れていましたので、報い観面、全身がガタガタです。

度重なる除去手術で、体重は大分軽くなりましたが、愚妻と方々の病院通いが日課となり、薬漬けの毎日です。

優等生ばかりの諸兄の中にあつて、生き甲斐などには無縁の厄介な老废物となり、恥多い余生を細々と送っております。

◇ 弘田 祥子 (高知市)

皆様今日は。私が退職して早五年が経ちま

した。

退職した後の解放感も大分薄れた頃、上司だった方より、「仕事に來れないか」とお話があり、以後、NTT高知支店の東局で、以前一緒に居た人達と楽しく仕事をしております。また、OBサロンでは、「きさらぎ会」に入り、マイペースで書道に取り組んでおります。

退職してから、電友会、テルウェル等の良さが分かり感謝しております。

◇ 藤林 勝三 (多度津町)

通信省、電電公社、NTTと、四三年余りお世話になり、退職して早一〇年が過ぎました。その間、日本メックス(株)で平成八年四月までお世話になりました。

現在は家内と二人で、五〇アール余りの水稲と野菜作りに汗を流しています。また、地域では大字評議員、長寿会福寿園芸会、神社係、福祉保健推進員等をやっております。

結構多忙ですが、お蔭様で健康に恵まれ、元気に頑張っております。

◇ 古谷 富美 (高知市)

退職後、夫と二人で近くの山畑を開墾して一年になります。無農薬野菜を作り、新鮮な野菜を孫達と分け合っています。

夏の八月とお正月前には、東京、伊丹、徳島から孫達が帰って来て、二人の大家族となり、年末には皆でお餅つきもします。

同居していた父は、平成七年に九二才で亡くなりましたが、母は八九才で野菜作りの現役です。私も一日一日を大切に過ごしたいと思っております。

◇ 平家 俊一 (松山市)

「光陰矢の如し」と言う通り、退職して早一三年になろうとしております。

第二の職場は六五才で辞め、それからは妻と二人で、八八カ所参拝など旅行三昧の明け暮れであります。

これからも元気で、体力の続く限り続けたい思っておりますが、病院通いも一病息災と自分に言い聞かせながらのこと。人様に迷惑をかけないよう一日一日を大切に、孫の成長を楽しみに暮らして行きたいと願っております。

◇ 宝田 昭一 (高松市)

平成元年に大腸の手術で三ヶ月入院。七年間勤めた第二の職場、テルウェルを退職しまして、もう一〇年経ちました。

その後は定期的に検診を受けていますが、お蔭様で病状は安定しており、体調も良好です。

現在は、息子の洋蘭園を家内と共に手伝っており、多忙な毎日を過ごしています。

毎月一回の先輩諸氏との夕食会に、いつもでも参加出来るよう、健康に気を付けて頑張っております。

◇ 本田 悟 (松山市)

早いもので、退職して一三年が過ぎようとしています。

退職と同時に公民館のお世話をすることに、現在に至っております。また、松山中央公園建設での地元役員や、グランドゴルフ協会のお世話などで、多忙な日々を送っておりますが、お蔭様で至って元気です。

目下、下手なゴルフや、グランドゴルフの練習を楽しみにしております。

◇ 松本 明子 (松山市)

新春のお慶びを申し上げます。平成五年四月に皆様の仲間入りをさせて頂き、同時にNTTドコモ松山支店へ入社。

平成元年に単身赴任で宇和島を後にして、以来八年。今では六人の孫のおおあちゃん。離ればなれの寂しさも、職場生活と三〇年余続けていた書道が、全てを吹き消してくれています。

今、一番の心配は運動不足。そのうち皆様のご指導を仰ぎたく、その節は宜しくお願致します。

◇ 宮林 輝彦 (松前町)

退職して早十数年が過ぎ、高齢者手帳を頂いておられます。体の方は軽い高血圧程度で、何とか平々凡々の毎日を、元気で楽しく過ごしております。

毎日の日課としては、「仕事の如く」四季折々の自然の変化を肌で感じながら、「一万歩」ウォーキングで健康づくりに励んでおります。

老化は足からと言われています。皆さんにも、健康と老化防止に、毎日のウォーキングをお薦めします。

◇ 宮本 欣孝 (坂出市)

「長期的には、人は皆死ぬ」これはケインズの警句である。嫌な奴も親しい友も、そして自分自身もやがて死ぬ。

死を納得できる理論的で鋭い悟りの文言を求めて、哲学書、宗教書を漁ってみたが、そんな言葉は何処にも無い。そこで、「今を生きる」の連続しないと覚悟してみたが、私如きに大したことはできない。

結局、青春時代に回帰して、「天皇制国家における支配と統合」といった類の青臭い本を、耽読する日々なのである。

◇ 矢野 功 (今治市)

退職後、早七年が過ぎ、体のあちこち油切れ。孫も大きくなり遊んでくれない。

寺の世話役、自治会長を押しつけられ、結構忙しい毎日を送っていますが、趣味では、同じOBの方と舟釣りをしたり、図書館を頻りに利用させてもらって、色々なジャンルの本を読みあさったりしています。

時々、思いついたことをメモして、エッセーらしきものを書き、ボケ防止に役立てている昨今です。

◇ 山内 光男 (鴨島町)

退職してから一五年になります。お蔭で健康に恵まれ、昨今は麻名用水の総代、自治会の役員等、地域のために精出しています。

時々、N T Tの電柱敷地折衝の仕事をさせてもらっています。私は線路屋で、現地調査の時、私の残した線路設備に出くわすことがあります。そんな時は感無量です。

私の楽しみは、中国人の友人と年一回、中国各地を気儘に旅行することです。最近の通信事業の急変には驚いています。

◇ 山田 藤夫 (松山市)

退職して九年になる。糖尿病の持病があるため、毎朝、運動に出るのが日課となっている。石手川の土手を鴨や白鷺を眺めながら、運動公園へかかる斜鳥橋の工事を見ながら歩くよさは、一病あればこそ思われる。

近所に畑を借り、友人のI氏の厚意で野菜の種苗を貰い、百姓の真似事もしている。運動と野菜の収穫で一石二鳥になる。

友人I氏には、四国八八カ寺参りにも同行させてもらい、忙しい毎日を過ごしている。

◇ 山本 信恵 (高知市)

会報を楽しく拝見させて頂いています。

退職して四年が過ぎました。平成五年に直腸を、九年一月には腰部背柱管狭窄症で手術をして三ヶ月入院しました。

今は、腰痛体操等が続けながら主婦業が出来るようになり、健康の有り難さを楽しみと実感しています。

励まし合ってリハビリをした仲間や変わりない友との繋がりと、家族の温もりを大事にして暮らしております。

◇ 吉川 善治 (坂出市)

家族に任せきりだった小商売を、定年を待たずに退職して引き継ぎ、今年で一八年になりました。

毎朝九時から夜九時まで、年中無休のレジ係をしています。お客さんとの世間話は、年齢のせいも、健康について長話になることが度々あります。

私の健康法は、最近始めたウォーキングです。四kg減量に成功しました。ストレス解消には、一人でポケットビリヤードを楽しんでいます。調子の悪い時は、一球を五分以上追いかけることもあります。

◇ 吉田フジ子 (徳島市)

元来病弱だった私は、人並みの健康体になることでした。二〇数年前より、歪体を正体にする操体法と中国気功法の良き師との出会いから、これを学び実行し続けました。

その結果元気になり、日々を感謝しつつ、今は講師として、当地の社会保健センターや各所からの依頼を受け、自他ともに健康増進に励んでおります。

身体のアンバランスで、各部位のこりや痛みに悩まされている方々に、種々学んだ自己治療法で、お役に立てば幸いに存じます。

◇ 渡部 幸子 (松山市)

退職後、もう三〇年も経っているのに自分で驚いています。(一四ページへ続く)

テルウエルだより

NTT-OB退職者等文化活動  
園芸講座を開催

十一月十九日、愛媛県緑化センター（温泉郡重信町）において、恒例となっているテルウエル主催の園芸教室を開催しました。  
当日は、一六名の皆様に参加して頂き、昨年までの正月用松竹梅盆栽にかけて、「窓辺を飾るクリスマス用観葉植物の寄せ植え」にチャレンジしました。



参加者の個性によって、色々とコーディネート

イトされた素晴らしい作品が出来上がり、一足早いジングルベル音がどこからともなく聞こえてくるようでした。

参加されたTさんは、「サンタクロースとリボンで飾りつけをし、小学一年生になるお孫さんへのプレゼントができた・・・」とジツト自分の作品に見入っておられました。

テルウエル香川からの

平成一〇年度退職者文化活動のご案内  
毎年、退職者の皆様にご案内申し上げております、テルウエル香川営業所主催の「退職者文化活動」につきましては、平成一〇年度分を、昨年、皆様のお手元にお届け致しました「ゴールデンループ（二月号）」に、合封してお届けしました。

なお、合封しました案内文には、参加申込書と返信用封筒が添えてありますので、ご利用下さいませようお願い致します。

また、不明な点がございましたら、ライフコンサルタントの山田蕃まで、お気軽にお問い合わせ下さい。  
電話（〇八七）一八二三一〇二九四

第五回「NTT-OB俳句大会」を開催

テルウエル徳島営業所では、毎年開催して恒例となっている「NTT-OB俳句大会」を二月六日（土）、午前一〇時から午後三時半過ぎまで、徳島市中央公民館第一研修室で開催しました。

師走に入って慌ただしい中、NTT-OBにNTT社員等二十七名が参加して、事前に用意した当季雑詠三句と、当日席題の「枯蓮」と「雑炊」とに取り組み、熱心に作句が行われました。



その後、選者と参加者が、当季雑詠と席題について、それぞれ一〇句を選句し、披講して、入選句について得点を競ったのでした。

選者には、NTT-OB俳句サークル「眉秋会」主宰で、俳人の長島正雅先生と、同じくOBサークル「さくら俳句会」、「かりん俳句会」、「麻俳句会」の指導者で、俳人の斉藤梅子先生をお願いしました。

今回、両先生の全般的な講評では、昨年に比べて作句技術が格段に向上しており、水準がアップしているとの解説がありました。そうしたことあって、各人の選句の得点は接戦となり、最後まで、優勝・準優勝者

等、入賞者の行方が判らない状況でしたが、優勝者には大塚幸太氏(四九得点)が、準優勝者には後藤田文枝氏(四二得点)が選ばれて、それぞれに記念品を贈呈しました。その他にも、入賞者に記念品や特選句に選者の色紙等が贈呈され、楽しい師走の一日が終わりました。



文化講演会

土佐のおどけ者たち

去る一月六日(土)、午後三時からNTTプラザ高知に於いて、OBの皆様六〇数名の参加を得、テルウェル高知営業所では、平

成九年度の文化講演会を開催しました。「たまには、面白い話しも・・・」と「土佐の民話」で有名な市原麟一郎先生を講師にお招きしました。

市原先生は、高知県では、テレビやラジオでお馴染みの方が多く、「大笑いは寿命を一年伸ばす」をモットーに、随所で講演会を開会されているので有名ですが、私達も久しぶりに、本物の土佐弁を楽しむことができました。

講演は、「土佐のおどけ者たち」ということで、昔ながらの土佐人気質を軸にした実話を織り混ぜてのお話には、OB一同納得と笑いの連続でした。

土佐者の典型は、

○どくれ(反骨精神、へそまがり、へんくつ者)

○いごっそう(頑固一徹、つむじまがり、信念の人)

○ひょうげ者(ひょうきん者、トンチ者)

○とっぽーこき(ほらふき)

○そそくり(そこつ者、あわて者、いられ)

○かんりやく家(ケチ、節約家)

○ということであります。

この典型的な人達を総じて「土佐のおどけ者」と称し、彼らは小作人や底辺に生きた人達で、親方やお上に「一泡ふかせてやろう」と虎視眈々とその機会をねらい、「ざまー見ろ」と喜んでいたのです。

厳しい身分制度の中で、明治維新を導いた「坂本竜馬」にその精神が脈々と生きていたと言えます。

話しに出てきた土佐弁をご紹介しますと、  
▽「おまん、なにをいいゆぜよ。ええかげんにしいや、まっこと、やちがない」

▽「それがたまるか、へんしもいぬるぜよ」  
判りますか。現代版になおすと、  
▽「あなた、何を言っていますか。いい加減にしてよ、本当に馬鹿馬鹿しい」  
▽「それは大変、大急ぎで帰ります」



サークルだより

華グループ同好会

村上 好子 (高松市)

華グループ同好会が誕生したのは、平成七年二月、今年でやっと三歳になったばかりです。

会員は一三名で、講師も大森和子さん(私達と同じNTTOB)をお願いし、未生流を教えてもらっています。月二回の例会は、格花と新花を入れるようにしていますが、特に格花は、全員がチャレンジ心を発揮しているように思われます。



「花に暮らしの潤いを求め、人と花との心の触れ合いを形に表すのが生花の心」と先生は、生け花の神髄を説いておられますが、私達は、先ず親睦を一番に置き、花の心は二番目に置いているのが実状です。お稽古日を決めるのも皆で都合のよい日を決め、OBサロン、たまも、内の和室(一五畳)の空いている日に合わせるようにしています。

朝からお稽古を始める日は、お花を活け終わってから皆で近くに食事に行ったり、二、三ヶ月に一回は、NTTプラザ等で勉強会を開き、皆で意見を述べあい、その後、豪華な食事会を開いたりしています。

一同、和気あいあい、これからも息の長い活動が続けたいと思っております。お花の経験、技術は問いません。私達と一緒に楽しみたいと思われる方は、どうぞ何時でも仲間になって下さい。

(四ページからの続き)

番号案内料金の改定

NTTは、二月一六日、番号案内料の改定について認可申請を行った。認可後、四月からの実施を予定している。

改定後の料金は、現行の一案内三〇円が六〇円(改定後一年間は五〇円)に、六〇円が九〇円(改定後一年間は八〇円)に、但し、「深夜・早朝」は六〇円が一五〇円(改定後一年間は一二〇円)に改定される。

また、公衆電話は三〇円が一〇〇円に、パソコンや専用端末(エンジェル・ノート)等は三分一〇円の通話料金に、一検索当たり一五円が加算されることになっている。

なお、パソコン等と同じ料金で、プッシュホンからの検索も可能になる予定。

(六ページからの続き)

ほぼタリウムと同等といわれています。また心筋脂肪酸代謝製剤や心臓交感神経機能製剤等も開発され、心筋の病態、治療効果の評価に有用と考えられています。他に、心プールシンチグラフィ、心筋壊死シンチグラフィ等もありますが、割愛します。

四 脳血流シンチグラフィ

①脳血管障害における虚血域の範囲と程度の評価、②てんかんの焦点の同定と障害部位の範囲の評価、③アルツハイマー型痴呆と脳血管性痴呆との鑑別、④意識障害患者における脳局所の血流低下の程度の判定、⑤脳死の判定、⑥精神疾患への応用等を目的として行われます。(放射性医薬品については省略)今後、脳のエネルギー代謝や神経伝達機能の画像化等での進展が期待されます。

以上、駆け足になりましたが、核医学診断の概略をご説明致しました。他にも内分泌、呼吸器、消化器、腎等の検査があります。

もし、何かの病気で核医学検査を勧められましたら、その内容について、担当の先生とよくご相談下さい。

(一一ページからの続き)

弱い体に鞭打って、何とか主婦をさせてもらっております。

月に何度か、心優しい先輩とおしゃべりしながら、外食できるのが唯一の楽しみです。世の中暗いことばかりですが、少しでも明るく生きたいと思っています。

▼次の方の原稿は、次号とさせて頂きます。

- 秋山清子様 池内一雄様 酒本幸人様
- 清水 正様 速渡正光様 正木康晴様
- 村尾守康様

俳句

友佳里句会(愛媛)

昼灯す山荘冬日逃げ易く

上田 南堂

短日のエンジン切らぬ宅配車

二神 三郎

せせらぎを子守歌とし山眠る

森 翠雨

貸し借りの綺麗さっぱり十二月

後藤 波久

鬼城来て飛べと見守る冬の蜂

坂口 好史

四方へ啼く寒鴉に応ふ寒鴉なし

佐々木たけし

冬かもめ蒙古高麗の防塁址

仲谷あきら

落葉降る音に耳かす石地蔵

北 哲舟

だれかれの消息話年忘れ

高本たかし

「坊ちゃん」も訪でたるらし時雨寺

穴吹 義教

冬紅葉峽に暮らして峽に老ゆ

垂水 秀夫

物故者叙位叙勲

正七位勲六等瑞宝章

西沢 立至様

勲六等瑞宝章

玉川 邁様

正七位勲六等瑞宝章

岡田 安隆様

正七位勲六等瑞宝章

吉岡 正様

敬弔

次の方が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

氏名	逝去年月日	幹歳	籍地
池田 實様	9・5・15	63	小松町
長尾 豊晴様	9・9・8	87	安芸市
薬師寺正行様	9・10・19	69	松山市
三谷 一夫様	9・10・23	87	長尾町
青山 和幸様	9・10・25	67	松山市
岩崎 敏様	9・10・28	64	野村町
弘瀬 英世様	9・10・31	71	高知市
亀岡 清春様	9・11・3	79	松山市
玉鳥 房信様	9・11・7	68	徳島市
東 俊明様	9・11・9	76	高松市
井上 隆様	9・11・12	89	高松市
塩見 貞雄様	9・11・19	73	松山市
中屋 鹿男様	9・11・29	91	高知市
川本 寿夫様	9・12・5	70	埴山田町
田中ヨシ子様	9・12・8	77	八幡浜市
岩田 秀様	9・12・9	90	徳島市
橋本 美樹様	9・12・12	85	北島町
長沢 総博様	9・12・19	77	野市町
市岡 寛様	9・12・19	90	松山市
鍵山 進様	9・12・25	86	埴山田町
氏家 武男様	9・12・26	86	善通寺市
原 清司様	10・1・1	79	坂出市
中野 寛雄様	10・1・5	60	松山市

明けましておめでとうございます。毎号の原稿では、ご支援・ご協力に感謝しております。何とぞ本年も、宜しくお願い申し上げます。

さて、記事にもありますように、NTTの再編成の基本方針が固まり、四国でも、今年急ピッチで、再編成が進んで行くものと思われまます。

やがて四国支社がなくなり、愛媛から四国の文字が消えてしまうのかと思うと、感傷的になりが、会の力を結集して、四国電友会の名前だけでも、何とか残しておきたいと思う昨今です。

ともあれ、会員の皆様方には、よき寅年でありますことを願ってやみません。(愛原)

編集後記

原稿募集

- 一 近況短信(二百字程度)
  - 二 短歌、俳句、川柳
  - 三 サークルの活動状況等(写真可)
- 切は二月末日です。皆様からの原稿をお待ちしています。

四国電友会会報 第一〇一号  
 発行 平成一〇年 一月 一日  
 編集 電友会四国地方本部  
 松山市一番町四ノ三  
 NTT四国支社内  
 電話 〇八九一九三六一二〇二三  
 印刷 NTT四国電話帳株式会社



マルチメディアは世界をむすぶ

# 2つの通信機器が同時に使える

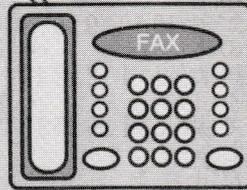
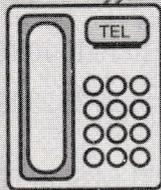
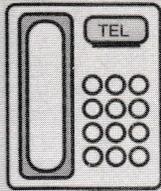
番号そのまま NTTのデジタル回線

## INSネット64

インターネット

OCN

INSネット



### 高速通信

電話回線と比べINSネット64は、2倍以上の64kbit/sの高速通信が可能です。

### 高品質

データ伝送時の雑音混入や信号の減衰等に強くデータエラーも少なく、映像等も鮮明に送受信できます。

### 経済的

1回線増設するよりは、導入費用・毎月の使用料を比較しても割安です。

導入前

電話網

コネクタ

切替装置

### 番号そのままINSネット64に変更

導入後

OCN

INSネット

コネクタ

DSU内蔵  
ターミナル  
アダプタ

